

2020年度(令和2年度)学校評価自己評価表

| | | |
|---------|------|-------------------|
| 大成館中学校区 | 校番81 | 福山市立遺芳丘小学校 |
| 最終更新日 | | 2020年(令和2年)10月20日 |

I 福山市

| |
|---|
| <p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型「スキル&倫理観」」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p> |
|---|

II 中学校区

| | | | | |
|--|--|--|---|---|
| <p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>子どもが主体的に学ぶ授業をつくるための教職員研修を充実させてほしい。</p> <p>▶関係機関と連携し、教職員が信頼される学校をつくってほしい。</p> <p>▶長期欠席・不登校児童生徒への取組を一層充実させてほしい。</p> <p>▶保護者、地域と連携し、児童生徒が安心・安全に過ごせる学校を創ってほしい。</p> <p>▶達成できなかった指標について、改善状況・方策をもう少しわかりやすいようにしてほしい。</p> | <p>児童生徒の現状</p> <p>▶基礎学力の定着及び「読解力」等に課題がある。</p> <p>▶体力面の課題が改善しつつある。</p> <p>▶長欠児童生徒の削減が課題</p> <p>▶あいさつや無言掃除は、小中一貫した取組の成果が見られる。</p> <p>▶地域との交流により、郷土への愛着心が高まっている。</p> | <p>育成する力 21世紀「スキル&倫理観」</p> <p>○相手意識をもって、自分の言葉で表現する力 ～コミュニケーション能力と思いやり～</p> <p>○自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力</p> | <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>1 基礎学力を身につけ、自ら学び続ける子 2 運動・食習慣を身につけ、活力のある生活ができる子 3 規範意識を身につけ、思いやりのある言動ができる子</p> | <p>中学校区として統一した取組等</p> <p>1 学力向上…自ら考え学ぶ児童生徒の育成、家庭学習の定着 2 体力向上…各校独自課題の克服、食育の推進 3 連携教育…規律、小中歌声交流会、各種学校行事の交流、ふるさと学習の推進</p> |
|--|--|--|---|---|

III 自校

| | | | | |
|--|--|--|--|-----------------------|
| <p>ミッション</p> <p>1 児童が楽しく登校し、全力で自分の能力を発揮できる安全・安心な学校</p> <p>2 確かな学力を身につけ、自他共に感謝・思いやりを大切にする児童の育成</p> | <p>育成する力 21世紀「スキル&倫理観」</p> | <p>コミュニケーション能力</p> | <p>課題発見・解決力</p> | <p>感謝・思いやり</p> |
| <p>学校教育目標</p> <p>感謝・思いやりの心を持ち、仲間と共に、学び続ける子どもの育成</p> | <p>校訓</p> <p>協働「違うことが素晴らしい!」 様々な思いや考えがあることを喜び、 協働する子</p> | <p>創造「創ることが面白い!」 進んで地域や社会と関わり、よりよい 生き方を創造する子</p> | <p>幸動「自分が好き!人が好き!」 ありのままの自分と人を受け入れ、み んなの幸せのために行動する子</p> | |
| <p>現状</p> <p>○主体的な学びづくりに対する子どもの意識が高まり、自分たちで学びたいものや学び方を意思表示したり、学びファイルで自己の伸びを自覚したりしている。</p> <p>○縦割り活動や東村小・今津小との交流の活性化によって、子どもどうしがつながらる場面が多くなり、友だちに対する思いやりの心が育っている。</p> <p>○学習や生活への意欲を高めることで、不登校傾向にある子どもの登校日数が増えつつある。</p> <p>●主体的な学びづくりに対する意識が高まる中で、活発な学習活動でとどまり、深い思考を伴う学習場面を作り出すまでには至っていない。</p> <p>●学びに向かう姿に個人差がある。子ども個々の学びの姿を見取る教師の力を高める必要がある。</p> | <p>めざす子ども像</p> <p>低 自分の考えや思いを順序立てて話したり、大事な事を落とさないようにきいたりすることができる。</p> <p>中 理由を述べながら自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを理解しようとしながら話を聞いたりすることができる。</p> <p>高 自分の考えや気持ちが明確に伝わるように表現を工夫したり、相手の気持ちや意図を共感的に受け止め、話し合ったりすることができる。</p> | <p>体験や生活の中で不思議に思うことについて、自分の考えを進んで交流し、解決しようとするすることができる。</p> <p>体験や生活の中での問題から課題を発見し、解決のために、進んで情報を集めたり、関係づけたりして解決しようすることができる。</p> <p>体験や生活の中での問題の中から課題を発見し、効果的な解決方法や必要な情報を収集・選択し解決することができる。</p> | <p>自分の周りの人、物に対して、ありがたうの気持ちを伝えることができる。</p> <p>自分の周りの人、物に感謝の気持ちを自分の言葉や態度で表そうとしたり、お互いを支え合う態度で接したりしようとしている。</p> <p>自分の周囲の人や物、環境に対し、感謝の気持ちをこめた言葉や態度で表そうとしたり、相手を尊重した共感的な態度で接したりしようとしている。</p> | |
| | <p>研究</p> <p>教科等 算数科、生活科・総合的な学習の時間</p> <p>主題・内容等 自ら選び、判断し、協働的に学び続ける力の育成</p> | | | |
| | <p>めざす授業の姿</p> <p>児童が、課題解決に向け、自分で選び、判断し、友達と協働しながら学び合う授業</p> | | | |

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

| 年目 | 中期経営目標 | 重点 | 分類 | 短期経営目標 | 目標達成に向けた取組 | 評価指標 | 中間評価(10月1日) | | | 最終評価(2月末) | | | | |
|----|---------------------------|----|-----|---------------------------------|---|--|---|-------|-------|---|-------|-------|-------|--|
| | | | | | | | □指標に係る取組状況 | □達成評価 | □改善方策 | □指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況 | □達成評価 | □総合評価 | □改善方策 | |
| 1 | お互いを認め合い、ともに高まり合える学びの創造 | | 新規 | ①児童が主体的に意見を交わし合う授業づくりの推進 | ▶授業に考え、表現する(話す・書く)場を設定する。 ▶児童が自由に学び合う場を設定する。 | ▶「授業で考えることはおもしろい」80%以上 ▶「友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。」80%以上 | ▶「考えることはおもしろい」…76.4% ▶「考えを深めたり広げたりできた」…73.4% | 3 | 3 | ・児童が興味を持って取り組めるような課題を設定する。 ・主体的に学ぶ中で、基礎学力の定着を見取り、必要に応じて振り返り学習を行う。 | | | | |
| | | | ★新規 | ②児童がお互いの良さを認め合いながら進める異年齢の学びの推進 | ▶異年齢の学びの場(たてわり総合・生活、チャレンジ国・算)において、振り返りのサークル対話を充実させる。 | ▶「自分の考えは認められている」80%以上 ▶「グループで話し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりすることができた」80%以上 | ▶「自分の考えは認められている」…79.3% ▶「考えを深めたり広げたりできた」…73.4% ▶昨年度より、児童の活動の幅が広がっている。 | 4 | 3 | ・サークル対話を実施するために、互いに関わる場を増やす。 ・ワークシートの工夫や、振り返りの時間を確保し、振り返り活動を充実させる。 | | | | |
| 1 | 児童が選び、判断し、確かな力を身に付ける学びの創造 | | ★継続 | ③児童が自分の課題解決に向けて主体的に取り組む授業づくりの推進 | ▶自分で学びの内容や方法を選び、判断する場面の設定 ▶発達段階に応じた、自分で計画し進める家庭学習の実施 ▶自分の伸びや課題を自己表現させる、学期2回の学びウィークの実施 ▶体育科でのサーキット、生活改善を意識づける食育・保健指導の実施 | ▶「自分で選んだり決めたりして進める授業や家庭学習は楽しい」80%以上 ▶「自分が伸びた点や課題がわかっている」80%以上 ▶体力テストでの、県平均を上回る種目率50%以上。 ▶早寝・早起き・朝ごはん90%以上の定着。 | ▶「自分で選んだり決めたりして進める授業や家庭学習は楽しい」…80.0% ▶「自分が伸びた点や課題がわかっている」…75.1% ▶体力テストは今年度未実施。 ▶「早寝・早起き・朝ごはん」の定着…80.5% | 4 | 3 | ・プランニングファイルの活用の仕方を工夫し、実施した家庭学習の振り返りをさせ、継続・改善させる。 ・事前に自分の伸びや課題を児童に考えさせ、説明させ、次への意欲を持たせる。 ・外遊びの推奨のために体育委員会を中心に全校遊びを実施する。 ・栄養教諭が家庭科や学活等で朝ごはん指導を行い意識を高めさせる。 | | | | |
| | | | 新規 | ④児童が安心して主体的に学ぶことができる環境づくりの推進 | ▶児童が2日連続欠席したら家庭訪問を実施する。 ▶昨年度長欠児童家庭への継続的な家庭訪問を行う。 | ▶「学校での生活が楽しい」と答える児童を90%以上。 ▶新たな長欠0 長欠児童数 - 3人(昨年度10人) | ▶「学校での生活が楽しい」83.5% ▶新たな長欠0人 ▶長欠児童数4人(9月末) | 3 | 3 | ・引きつづき、児童の欠席状況を把握しつつ、教室に位置付きにくい児童に対し、組織体制で声かけをしていく。 ・長欠児童に対し、担任を中心に家庭訪問等を行っていく。 | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------|---|----|-------------------------------|---|---|--|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 1 | 周囲の人々に対する感謝・思いやりを育てる学びの創造 | | 新規 | 児童が地域の人やものとのつながりを実感できる教育活動の推進 | ▶地域資源を活用した学習や体験を実施する。 ▶幸動「あいさつ、時間を守る」の日常化 | ▶「自分の住んでいる地域や地域の人が好き」80%以上。 ▶幸動項目の肯定的評価85%以上 | ▶「自分の住んでいる地域や地域の人が好き」…83.5% ▶あいさつ…72.9% ▶時間を守る…69.5% | 3 | 3 | ・地域とつながった体験学習等を学年に応じて実施していく。 ・相手に伝わる挨拶の仕方等を道徳や学活などで伝えていく。 | | | | | |
| 1 | 主体的な学びを創造する教職員体制の構築 | ★ | 新規 | 教職員の笑顔・元気・やる気の向上 | ▶週1回の定時退校日を徹底する。 ▶授業づくり(月1回)タイムや学年会(毎週)の時間を保障する。 | ▶「仕事にやりがいを感じている」95%以上 ▶「仕事の中で充実感を感じている」90%以上 ▶授業づくりの時間が確保できている80%以上 | ▶「仕事にやりがい」…86.9% ▶「仕事の中で充実感」…86.9% ▶「授業づくりの時間確保」…73.9% | 3 | 2 | ・定時退校日以外の課業日の退校時刻についても厳守し、日常的に業務改善を意識した行動を目指す。 ・学期末等に計画的に会議を持たない週を設定し、授業づくりの時間を保証していく。 | | | | | |

| [プロセス評価の評価基準] | | [達成評価の評価基準] | | [総合評価の評価基準] | | |
|---------------|--|-------------|------------------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 評点 | 評価基準 | 評点 | 評価基準 | 評点 | 評価基準 | |
| 5 | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。 | 5 | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。 | 5 | 100%以上の達成度 | 十分に目標を達成できた。 |
| 4 | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。 | 4 | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。 | 4 | 80%以上100%未満の達成度 | 概ね目標を達成できた。 |
| 3 | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 | 3 | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。 | 3 | 60%以上80%未満の達成度 | ある程度目標を達成できた。 |
| 2 | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。 | 2 | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。 | 2 | 40%以上60%未満の達成度 | あまり目標を達成できなかった。 |
| 1 | 取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。 | 1 | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 | 1 | 40%未満の達成度 | 目標を達成できなかった。 |